
草鹿やちるは黒いのか純粹なのか否か

袖唄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

草鹿やちるは黒いのか純粹なのか否か

【コード】

N6032H

【作者名】

袖唄

【あらすじ】

海に行くための旅費を稼ぐ事になった女性死神協会。金を稼ぐためにあの人をターゲットにするのだ！

(前書き)

やちるが黒いです。
ご注意下さい。

女性死神協会の最年少の死神、やちる。

普段、更木の背中に乗っているためあまり知られていないが、すごくすばしっこい。

実の所、女性死神協会販売の写真集の半分以上はやちるが撮った物だったりする。（他乱菊など）金が足りなくなったらピンチヒッターやちる様のご登場だ。

朽木邸でプールを作り、白哉に千本桜で壊されて現世の海に行く事になり、旅費が必要になったときのこと。

乱「草鹿副隊長に今回は何を撮って貰えばいいかしら？雛森はどう思う？」

やちるに撮らせる事は決定済みだ。

雛「え……。その、今回は隠し撮りか集まってもらうかがどうするんですか？」

「今回は」っておい……。普段から隠し撮りしてんのかよ（boy）護

ネ「いい案があるのですが……。」

七「どうぞ。」

ネ「たまには狙いを女性にするのではなく男性に買わせる事にしてみれば良いのではと。」

乱「あら、いいわね！そうと決まれば早速行動よ！そうね、ルキアを捕まえて頂戴！」

・・・今回は別に草鹿副隊長が撮らなくてもいいわね、などと思っていた乱菊だったり。

『はい！』

・・・数分後。

ル「あ、あの、松本副隊長、何の御用でしょうか。」

乱「今度、男向けに写真集だすのよ！で、ルキアの写真を撮りたいのよ！」

ル「な、何故私のですか！？評判を得やすいのは松本殿の方ではないかと！」

乱「いやいやいいのよ。」

乱菊が（恋次や浮竹隊長あたりは買うわね。それにもしかしたら朽木隊長は大量購入するかもしれないわ。）などと思っていた事をルキアは知らない。

ルキアが撮り終わった後、矛先はとある人物に向けられた。

そしてその人を撮る為に密かに打ち合わせを始めるのだった。

ま、撮るのではなくその人の弱点を知るためだが。

次の日の事。

乱「草鹿副隊長くさしかのへい長ちやう〜！」

そう、ある人物とはやちることだ。ちなみに乱菊は仕事をサボっている。

何故やちるなのかというと、時間は遡り、昨日の事。

乱「そういえば、草鹿副隊長くさしかのへいつてよく写真撮ってるから色んな色男に恨まれてる？じゃないですか。」

卯「そういえばそうですね。」

卯の花隊長のご登場だ！

乱「ってことで弱点とか書いて載せれば大反響じゃないかしら？」

などと言う会話があったのだ。ちなみにもちろんその場にやちるの姿は居ないから話していたのだが。

その影で誰かが話を聞いてたのは誰も知らない。

や「どうしたの？」

乱「副隊長って、苦手のものとか嫌いなものあるんですか？副隊長の話は訊いた事ないんですけど。」

や「うーん、嫌い人ならいるよ？」

乱「え、誰なんですか!？」

や「やちるの弱点探す人！（ニコニコ）」

乱「……………え？」

や「だ〜か〜ら！やちるの弱点探す人！（ニコニコ）」

乱「……………」（副隊長が怖い！笑ってるけど怖いわ！悪魔の子だわ！）」

や「あ、あとやちるのこと悪魔の子って言う人！（ニコニコ）」

乱「……………すいませんでした。」

や「うん？どうしたの？別に怒ってるわけじゃないのに……………」

乱「こ、これで失礼するわ。じゃあね、草鹿副隊長。」

や「うん、じゃ〜ね〜。」

このやり取りにより「草鹿副隊長の弱点特集」は採用取消となり、また、シスコンと言われる白哉がルキアの写真集を売ると言う情報を聞きつけたのはわからないが、色々な圧力（金とか権力）をかけてもみ消した事により、お金が集まったため現世の海に旅行に行くことになる。そして、同時に乱菊の中で（やちるが怖くて他の人に話せそうになかったため）やちるは黒いという説が浮上したのは誰も知らない。

みんなに話した「やちるの弱点が聞けなかった理由」

乱「そ、その、草鹿副隊長って弱点とかないつて言ってたし、純粋な子供だし嘘は付かないかな？・・・(遠い目をする乱菊)と、思いまして・・・。」

(後書き)

どうでしたか？

良ければ感想をくれると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6032h/>

草鹿やちるは黒いのか純粹なのか否か

2010年10月8日14時55分発行